



貸倉庫3社、その他は北海道医師会使用部分となっており入居率100%を維持している。過去10年間安定基調で順調に推移している。会館管理収支差額も平成21年度～23年度で一時落ち込んだがその後回復し、事業活動収入に対して10%前後に推移し、人件費は事業活動収入の29～25%の範囲にあり、総人件費は職員の若返りにより減少傾向にある。

現北海道医師会館は平成27年4月現在、建築後39年経過した。平成8年度より保全工事を実施してきたが東日本大震災を機に会館の保全計画見直しを図り、平成24年度より耐震度老朽化診断を行った。会館耐震強度は震度5までであるが、24年度の中長期保全計画検討委員会によると会館本体は今後20～30年程度は使用に耐えうるものと判断された。しかし、会館空調等の設備の老朽化が認められ、数年以

内に設備改修工事を行う事が望ましいとの提言を受けている。建て替え費用として平成24年当時22億4,000万円必要と積算された。仮に20億円を会員から拠出したとしても借入金7億円（平成24年12月10日当時 第4回会館中長期保全計画検討委員会報告）となり、その返済負担は厳しいとの判断から早急な耐震化補強工事の実施は見送り、当面は当初予定の通り会館中長期保全改修工事を実施、会館維持管理に務め、また将来の改築を念頭に毎年計画的に約1億円程度の改修費積立を行っていくという結論に達した。今後20～30年の間に会館全面改築工事に向けての資金調達および工事計画を検討していくことが望ましいと考えられ、その方針に基づいて平成28年から29年の工期約1年の改修工事を行うべく、現在検討中である。

平成27年春の叙勲受章者（北海道医師会）

先般、平成27年春の叙勲・褒章受章者が発表され、当会会員で以下の方々叙勲の榮譽に浴されました。ここに受章者の方々のご功績をたたえ、謹んでご芳名を掲載させていただきます（敬称略）。
受章者各位には、心からお祝いを申し上げます。

◇旭日双光章

小林 公民 元 社空知医師会会長
保健衛生功労

◇旭日双光章

山下 裕久 元 北海道旭川方面公安委員会
委員長 警察管理運営功労

◇旭日双光章

山光 進 元 社札幌市医師会会長
保健衛生功労

◇瑞宝中綬章

安孫子 保 旭川医科大学名誉教授
教育研究功労

◇瑞宝中綬章

阿部 弘 北海道大学名誉教授
教育研究功労

◇瑞宝小綬章

石井 隆司 現 石井病院院長
保健衛生功労